

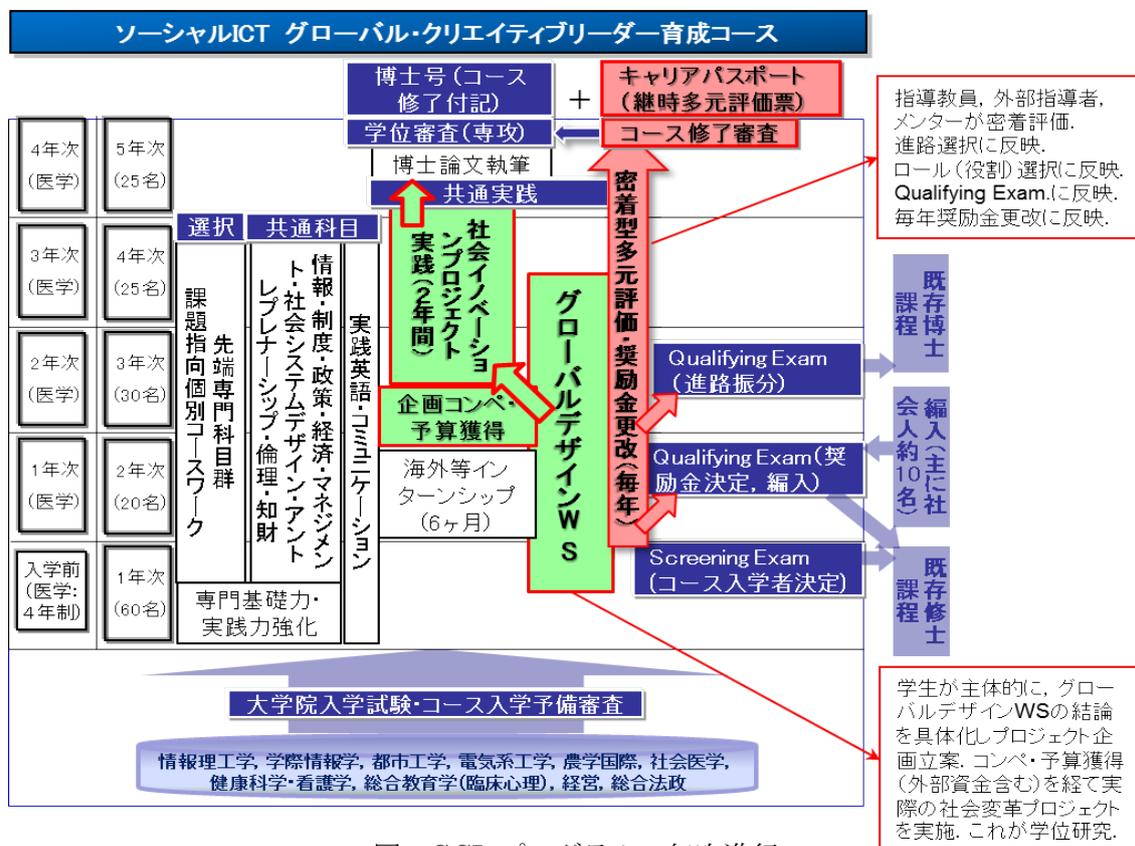
コースの概要

本コース履修資格

以下の条件を満たし、コース履修申請を経て、履修が認められた者

- ・ 以下に挙げる本学大学院修士課程に所属している者。
情報理工学系研究科（コンピュータ科学専攻，数理情報学専攻，システム情報学専攻，電子情報学専攻，知能機械情報学専攻，創造情報学専攻）
学際情報学府（学際情報学専攻）
工学系研究科（都市工学専攻，電気系工学専攻）
医学系研究科（社会医学専攻，健康科学・看護学専攻）
農学生命科学研究科（農学国際専攻）教育学研究科（総合教育科学専攻）
経済学研究科（経営専攻）
公共政策大学院
法学政治学研究科（総合法政専攻）
 - ・ 上のいずれかの専攻において博士後期課程進学を目指すもの。
 - ・ 広い意味で，先端 ICT とその社会への応用に関心を持ち，積極的にそれらを学習する意欲のある者。
- 2年次以後の進級者は，上に加えて：
- ・ 先端 ICT に基づいた社会的イノベーションにおけるリーダーとなることを志す者。
 - ・ 本プログラムの趣旨，履修要件等のルールを十分に理解する者。
 - ・ 博士の学位記に本プログラムを修了したことが付記されることを了解している者。

各年次の趣旨と募集人数



1 年次 (修士 1 年相当) :

所属専攻の専門的知識・実践力を修得・強化しつつ、本コース独自の科目により社会イノベーションやソーシャル ICT についての基礎知識や視座を身に付け、問題意識を涵養する。また、実践英語・コミュニケーション演習やグローバルデザインワークショップ(GDWS)により、グローバルリーダーに向けた基礎力と社会の第一線の人々(海外含む)との討論・協働経験を得る。

1 年次募集定員は 60 名(予定)で、希望者から選抜して受け入れる。1 年次後半に、各自の適性と将来設計に応じて、2 年次以後も本格的に本コースで博士学位修得を目指すか、既存の通常課程で修士修了あるいは博士進学を目指すか各自判断する。本コース 2 年次進級希望者から 20 名が選抜され進級する。これ以外の通常課程進学者は、上記の基礎的素養を携えて各専門分野を深め、社会で活躍していくことになる。

2 年次 (修士 2 年相当) :

本コース独自のカリキュラムにより、グローバルクリエイティブリーダーとしての博士学位取得を目指す。コース独自科目と各専攻科目に加え、6ヵ月程度の海外・国内インターンシップ（費用支援、場合によっては3年次実施）、社会イノベーションプロジェクト企画、ソーシャル ICT に関する研究・実践等を行い、所属専攻の修士学位を取得する。博士後期課程進学を前提として奨励金を全員（辞退者除く）に支給する。定員は20名（予定）。

3年次（博士1年相当）：

上記科目に加え、各自が企画立案した社会イノベーションプロジェクトに取り組む。定員は30名（予定）で、2年次からの進級者に加え、主に社会人を対象として10名程度を選抜試験により編入する。以後5年次まで全員（辞退者除く）に奨励金を支給する。

4年次：

3年次に引き続き科目履修とプロジェクト遂行に取り組む。

5年次：

上記プロジェクトの成果を学位論文にまとめ、本コース独自基準の学位審査を受け、合格すれば博士学位を取得する。学位記には本コース修了者である旨が記載され、別途コース修了証も交付される。修了者は、先進的なグローバルクリエイティブリーダーとして、企業、行政、国際機関、ベンチャー起業、等で社会変革を先導していく。